

8期24年の実績、地域との絆

8期24年間の主な実績

- ◎ 家計収入による子ども達の教育格差を是正するため、文部科学大臣として日本で初めて返す必要のない奨学金である「給付型奨学金」を創設。更に官房長官として、増額に取り組みました。
- ◎ コロナ期の経営不振から雇用を守るため自民党雇用問題調査会会長として、雇用調整助成金の活用拡大・スピードアップで失業対策に大きな成果を上げました。
- ◎ 日本を取り巻く安全保障環境が戦後最も複雑化し脅威が高まるなかで有事に備えて沖縄県先島地域の国民保護計画に取り組みました。

地元の課題

- ◎ 地域内交通政策の充実等、交通弱者対策に取り組みます。



略歴

- 昭和37（1962）年生まれ
- 千葉県立木更津高校卒
- 早稲田大学法学部卒
- ライオン株式会社を経て、（財）松下政経塾入塾。
- 第42回衆議院総選挙にて、初当選。以来8期連続当選

経歴

- 内閣官房長官
- 文部科学大臣 ■ 衆議院情報監視審査会会長
- 自民党総務会長代行 ■ 自民党雇用問題調査会会長
- 自民党高速道路推進議連事務局長
- 大学病院を支援する議員連盟会長
- 臨海コンビナート再生・強靱化推進議員連盟事務局長
- 自民党学童保育（放課後児童クラブ）推進議員の会会長
- 男性の育休「義務化」を目指す議員連盟会長

更に課題解決に向けて

- ◎ 物価高、持続的賃上げ対策の継続と不本意非正規社員の正規化を進めます。低所得世帯、子育て世帯に対する給付金等、きめ細かい対策を継続します。資産運用立国を推進し、貯蓄から投資への転換を進め、所得を増やし、資産形成の環境を整備します。
- ◎ 安保三文書の確実な実施で日本の安全保障を確立します。
- ◎ 52年ぶりの教師の処遇改善・働き方改革を官房長官として主導し提言を取りまとめました。来年の法案提出に向けて取り組みます。
- ◎ 科学技術立国で日本の産業・経済を支えるため、大学の学部の理系比率を5～10年で世界トップレベルに引き上げます。
- ◎ 圏央道の早期全面開通に努めるとともに、物流を利用し企業誘致を進めます。
- ◎ 集中豪雨、土砂崩れ等の災害の予防と迅速な対応に努めます。

内閣官房長官としての2年2ヵ月

内閣官房長官として、外交安全保障から内政にわたり国家の中核で仕事をする事ができました。ライフワークである教育分野でも「52年ぶりの教職員待遇の改善」・「大学の理工系学部への転換の推進」等の提言を取りまとめました。引き続き物価対策、災害対策等を進め、憲法改正を成し遂げなければなりません。これまでの経験を活かし、「日本」と「ふるさと千葉県」のために取り組んでまいります。

国政にお送りいただき25年目を迎えました。文部科学大臣、内閣官房長官をはじめ、国政における私の活動をお支えいただいた地元の皆様方に心から感謝を申し上げます。

日本を前へ。

ふるさとと千葉を前へ



松野ひろかず

自由民主党公認